

モニタリング結果報告書

施設	大磯港
指定管理者	大磯町
施設所管課	平塚土木事務所

(平成 22 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	H22. 11. 5	H22. 11. 10	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。
11月	H22. 12. 7	H22. 12. 13	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。
12月	H23. 1. 7	H23. 1. 14	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。
1月	H23. 2. 7	H23. 2. 10	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。
2月	H23. 3. 8	H23. 3. 14	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。
3月	H23. 4. 8	H23. 4. 14	現地確認・月報等で概ね良好に行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

建築資材としての砂利の陸揚げ基地として、水産拠点として、また、大規模な地震災害が発生した場合の緊急物資受け入れ港としての機能を発揮させるよう、適正な管理運営を図るとともに利用者サービスの向上に努める。また、大磯港を拠点とした開かれた港湾に向けた地域振興策を展開する。

< 実施状況 >

適正な業務運営を遂行し、利用者の多様なニーズに適切に対応するため、日本港湾協会神奈川県支部の研修や大磯町の人材育成方針に基づく研修を利用し、職員の資質向上に努めるとともに、施設利用承認の公平性の確保、効率的な承認に努めている。

< 提案内容の概要 >

大磯港を利用している漁業者、骨材事業者等の事業者間の公平中立な利用調整に努めるとともに、利用者意見の把握やモニタリングを行う。

< 実施状況 >

施設利用者の快適な利用に資する維持管理を行うよう努めるとともに、災害時等に的確に作動するよう防潮門扉の適正な維持管理に努めた。今般の震災時においては、防潮門扉を閉鎖し、併せて防災無線により施設利用者へ情報伝達、退避指示を行うなど適切な対応を行った。

開かれた港湾に向けた取り組みでは、11月に地元産の農産物や魚介類の販売等を行う「ふれあい農産物まつり」を開催し利用者アンケートも実施した。12月には「相模湾周遊クルーズ」(大磯港～真鶴港)を実施し好評を得た。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額) その他収入		
年間予算額	42,620	42,620		42,620	0
上半期計 (a)	18,643	18,643	()	18,443	200
下半期計 (b)	23,977	23,977	()	21,524	2,453
月	4,930	4,930	()	3,166	1,764
月	3,252	3,252	()	3,758	△506
月	3,252	3,252	()	5,435	△2,183
月	3,278	3,278	()	3,006	272
月	3,245	3,245	()	3,205	40
月	6,020	6,020	()	2,954	3,066
合計 (a+b)	42,620	42,620		39,970	2,650

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用料	前年同月利用料	前年対比増減率
上半期計 (a)	48,071,895 円	53,742,530 円	△10.6%
下半期計 (b)	24,263,270 円	26,850,281 円	△9.6%
10月	3,507,952 円	4,240,216 円	△17.3%
11月	7,907,001 円	8,745,939 円	△9.6%
12月	2,609,292 円	2,184,315 円	19.5%
1月	2,287,294 円	2,904,257 円	△21.2%
2月	6,716,726 円	6,470,213 円	3.8%
3月	1,235,005 円	2,305,341 円	△46.4%
合計(a+b)	72,335,165 円	80,592,811 円	△10.2%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

21年度に指定管理者制度に移行した際に、西荷さばき地使用料の収入時期がずれ3ヶ月毎に承認している分が1ヶ月前倒しで収入されたため、3月の収入に大きな差額が生じたことと、景気低迷の影響などからの来港者数の自然減による駐車場利用料金が減少したものの。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月						
月						
月						
月						
月						
月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・なし	
	・	
職員対応	・なし	
	・	
事業内容	・なし	
	・	
その他	・なし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

日常の維持管理業務を着実に遂行し、施設の快適な利用を進めるほか、利用承認等に当たっては、公平・適正な事務執行に務めるとともに、利用車両に起因する交通事故の発生防止に努めている。

また、緊急時に防潮門扉が支障なく作動するよう維持管理を行うとともに近隣住民に門扉の開閉動作の説明を行うなど災害時の対応に備えている。3月の震災時には、定められた手順に従い、門扉閉鎖、港内監視などの対応を行った。

施設所管課

諸規定類の定めるところに従って利用承認や維持管理業務を実施しており、良好な管理・運営を行っている。

「朝市」や「ふれあい農産物まつり」を開催するほか、県商工労働局産業部観光課の実施する「相模湾周辺クルーズ」に協力するなど、積極的に町民や観光客に親しまれる「開かれた港湾」づくりに向けた環境整備に努めた。